

## 仙台医療センター跡地における県有施設の再編に向けた基本構想策定支援業務【選定結果を公表しました】

[通常ページへ戻る](#) 掲載日：2020年7月28日更新

### 募集概要

本県では、今後の人口減少と財政規模の縮小等を見据え、平成28年7月に「宮城県公共施設等総合管理方針」を策定し、平成31年4月から、この方針に則って、老朽化が進む県有施設等の再編の在り方について検討を開始した。

令和元年度は、「県有施設等再編の在り方検討懇話会」を設置して、県有施設等の再編の在り方、対象施設の現状と課題、再編整備の方向性、再編方針等について、有識者から意見を聴取し、令和2年3月に「県有施設等の再編に関する基本方針」をまとめた。

本業務は、再編基本方針の内容等を十分に踏まえながら、宮城県民会館、宮城県民間非営利活動プラザ及び宮城県美術館の集約・複合化に向けた検討を進めるに当たり、機能、規模、立地条件等を調査及び検討し、基本構想策定を支援することを目的とする。

なお、基本構想の策定に当たっては、「宮城県美術館リニューアル基本構想」（平成29年3月策定）及び「宮城県美術館リニューアル基本方針」（平成30年3月策定）において示された現地改修プランと、本業務で検討する移転新築プランのメリット・デメリットを多角的に分析し、施設整備の方向性を整理した上で進めるものとする。

### 更新内容

- 
- 7/28UP 選定結果を公表しました。
  - 6/24UP 質問に対する回答を掲載しました。
  - 6/9UP 企画提案の募集を開始しました。

## 1. 業務名称

---

仙台医療センター跡地における県有施設の再編に向けた基本構想策定支援業務

## 2. 業務内容

---

- 1 対象施設に係る施設整備の方向性の整理
- 2 基本構想の作成支援
- 3 庁内ワーキンググループの開催運営支援
- 4 PPP・PFI検討調書（簡易検討）の作成支援業務

（必ず別添「企画提案募集要領」及び「業務仕様書（案）」をご覧ください。）

## 3. 委託期間

---

契約締結日から令和3年3月22日（月曜日）まで

## 4. 委託事業者の選定方法

---

公募型プロポーザル方式

## 5. 事業費（委託上限額）

---

36,300,000円（消費税及び地方消費税の額を含む。）

## 6. 募集要領等

---

[企画提案募集要領](#) [PDFファイル/434KB]

[業務仕様書\(案\)](#) [PDFファイル/751KB]

[様式集\(第1～5,7号\)](#) [Wordファイル/29KB]

[様式集\(第6号\)](#) [Excelファイル/19KB]

## 7.スケジュール

### スケジュール

| 期 日            | 内 容         |
|----------------|-------------|
| 令和2年6月 9日（火曜日） | 企画提案募集開始    |
| 令和2年6月19日（金曜日） | 質問受付期限      |
| 令和2年6月24日（水曜日） | 質問回答期限      |
| 令和2年7月 3日（金曜日） | 企画提案の参加申込期限 |
| 令和2年7月10日（金曜日） | 企画提案書の提出期限  |
| 令和2年7月中旬予定     | 企画提案の選考     |
| 令和2年7月下旬予定     | 選考結果の公表     |
| 令和2年8月上旬予定     | 契約締結及び業務開始  |

## 8.企画提案に関する質問への回答

[令和2年6月24日 質問回答 \[PDFファイル/375KB\]](#)

[みやぎNPOプラザ【配置図・平面図】 \[PDFファイル/393KB\]](#)

[宮城県美術館・佐藤忠良記念館【配置図・平面図】 \[PDFファイル/1.19MB\]](#)

## 9.選定結果

業務委託候補者：株式会社日本総合研究所

### このページに関するお問い合わせ先

#### **震災復興政策課**

政策調整班

Tel : 022-211-2478

Fax : 022-211-2493

メールでのお問い合わせはこちらから

## 2 施設改修の基本方針

美術館が現在もっている財産・資源を最大限に有効活用します。自然環境に恵まれた良好な立地環境と、合理性・耐久性に優れた美しい建築物を大切にしながら改修します。

### ・豊かな自然環境の保全

当美術館は、広瀬川や青葉山など豊かな自然に囲まれた地区に位置し、「杜の都仙台」を象徴する環境に包まれています。美術館を取り囲む大きく育った樹木や、広瀬川の清流を守る条例区域内の樹木等をできるだけ残します。

### ・既存建物の空間構成の本幹の尊重

当美術館は、国立西洋美術館（平成28年7月に世界文化遺産に登録）を設計した建築家ル・コルビュジェに師事し、日本を代表する建築家の一人である故前川國男氏の設計によるものであり、美術館として高い合理性を有し、国土交通省の公共建築百選にも選ばれています。外観、中庭、エントランスホール、展示室、創作室など建物の空間構成の本幹となる部分は、既存を残しながら改修します。

### ・「建物の合理性の精神」を尊重

来館者の利便性や職員の作業性を両立させることを考慮し、耐久性のある外装材、省エネルギーに配慮した建物構成など、既存の建築のもつ合理性を活かした改修を行います。

### ・合意形成の尊重

宮城県美術館の建築は、県民、美術館の学芸員等からの要望を踏まえて、十分な合意形成がなされた上で、展示室・収蔵庫・作業スペース・創作室など詳細に至るまで配慮して設計されたものです。その後も竣工時の考え方を尊重しながら使い続けています。改修設計にあたっては、引き続き、使用者及び利用者の意見を充分に取り入れながら設計を行います。

### ・ライフサイクルコストの低減、環境負荷の軽減

厳しい県の財政状況を踏まえ、建設費、維持管理費等のコスト面にも配慮しながら設計を行います。また、地球温暖化や環境対応にも充分配慮するほか、日常的なメンテナンスや設備更新のための作業性も確保し、長く使える建築を目指します。

### ・すべての人に愛される建築

障害の有無、年齢、性別、国籍等にかかわらず、すべての人々が快適に利用できることを目指します。

「宮城県美術館リニューアル基本方針」の掲載先

宮城県美術館リニューアル基本方針を策定しました（宮城県ホームページ）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syougaku/bijyuturenawal-kihonhoshin.html>

「宮城県美術館リニューアル基本方針」（PDF）

<https://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/670542.pdf>